

子育て 社会全体で

ここにいるよ
④ 沖縄子どもの貧困

第5部 先進地に学ぶ (1)

兵庫県明石市(上)

「子どもを養育したまちはぐり」を掲げ、関西圏で唯一人口がV字回復している兵庫県明石市。中学生までの医療費無料化や第2子以降の保育料無料化など、全世帯対象の子ども医療を次々と打ち出し、子育て世代を呼び込んでいる。子どもの貧困に関わる取り組みにも積極的だが、県副市長(52)は「貧困対策で貧困は解決しない」と言い切る。ユニークな先進自治体の戦略を聞いた。(2)子どもの貧困「取材班・田嶋正博」

県市長は2011年に初 婚時の養育費や面会の合意 出遅し、現存を断り。中学 書作り支援など、特色ある 生までの医療費無料化、第 2子とも医療を進めてきた。

人口増 地域に活気



「すべての子を対象にした 施策が結果的に貧困解消に つながる」と語る県副市長 9日、明石市役所

9月からは第2子以降の保 育料を完全無料化。17年度 以降は児童養護施設の新設 や中核市移行に伴う児童相 談所の設置も予定する。

「子どもにかかるコスト を誰が負担すべきか。子は 親の『持ち物』と考えれば 親の責任だが、そうではな

「対象者の絞り込みは難 しく、時間がかかる。どの 家が貧困かという議論に子 どもを巻き込んでしまう恐 れもある。そこにかけるコ ストやエネルギーを事業そ のものに回した方がいい」 だが中間層や富裕層も含 めれば財政を圧迫しかねな い。財源はどうするのか。 「要は優先順位の問題。 明石市は子どもを後回しに しない。第2子以降の保育 料無料化には7億円かかる が、最初に確保し、残りで ほかの予算を編成する」 市の人口は12年に29万人 割れ寸前まで減ったが13年 から増加に転じ、16年8月 現在、29万8千人まで回復 した。施策の効果もあり、 20、30代の子育て世代の転 入が目立っている。

「人が増え、地価が上が り、住民税や固定資産税の 収入が増えている。税収ア ップで住民サービスをさら に拡充できる。そんな好機 運をつらぬいてほしい。特 別なことでなく、全 国での自治体でもでき る。首長が本気がどうかが 問われている」

26面に続く

児童扶養手当 毎月に

ここにいるよ

沖縄子どもの貧困

第5部 先進地に学ぶ(1)

兵庫県明石市(上)

1面から続く

明石市は9月から市内の保育園や幼稚園で第2子以降の保育料を無料化する。県副市長は「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

市試算では、夫婦共働きで年収700万円前後、6歳、3歳、0歳の子がいる世帯の場合、年間約4万円の負担額になる。

「第2子の産みは経済的理由がほとんどだ。結婚したくて子どもをほしいのに経済的理由で断念するという社会は健全ではない。財政が許すなら、第1子から無料にしたいと思う」

市試算では、夫婦共働きで年収700万円前後、6歳、3歳、0歳の子がいる世帯の場合、年間約4万円の負担額になる。

「明石市に引越すだけで年収70万円アップと同じ効果がある。その分のお金を塾や習い事に充ててもらっていい。貧困層だけでなく、中間層も助かる。教育熱心な中間層が流入しなくては、それだけ街の力が上がる」

子どもは9月からの市内の保育園や幼稚園で第2子以降の保育料を無料化する。県副市長は「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

子どもは9月からの市内の保育園や幼稚園で第2子以降の保育料を無料化する。県副市長は「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

子どもは9月からの市内の保育園や幼稚園で第2子以降の保育料を無料化する。県副市長は「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

子どもは9月からの市内の保育園や幼稚園で第2子以降の保育料を無料化する。県副市長は「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

子どもは9月からの市内の保育園や幼稚園で第2子以降の保育料を無料化する。県副市長は「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

子どもも優先の政策 責務

子どもは9月からの市内の保育園や幼稚園で第2子以降の保育料を無料化する。県副市長は「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

子どもは9月からの市内の保育園や幼稚園で第2子以降の保育料を無料化する。県副市長は「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

子どもは9月からの市内の保育園や幼稚園で第2子以降の保育料を無料化する。県副市長は「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

子どもは9月からの市内の保育園や幼稚園で第2子以降の保育料を無料化する。県副市長は「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

子どもは9月からの市内の保育園や幼稚園で第2子以降の保育料を無料化する。県副市長は「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

子どもは9月からの市内の保育園や幼稚園で第2子以降の保育料を無料化する。県副市長は「お金の心配なく、子どもを産み育てられる環境を整えたい。負担が増えれば、街の安定的発展につながる」と語る。

「子ども総合支援」を前面に打ち出す明石市の広報誌

「あかし」

子ども総合支援 寄り添う支援をさらに充実

「あかし」は、子どもが育つための環境を整えることが重要。子育て中の家庭訪問で使われる方も確認できるようにしたい。現在子育てを募っており、2017年1月から開始予定だ。